

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を 契機としたスポーツの振興について

1 北九州市スポーツ振興計画での位置付け

平成 28 年 9 月に北九州市スポーツ振興計画を改訂し、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020」という）をはじめとする大規模国際大会の開催を契機に、本市のスポーツの振興はもとより、まちのにぎわい・活性化に繋げていくことが重要であるとの方向性を示した。

本計画の政策体系のひとつとして、「スポーツによるまちの活性化」を位置付け、「競技レベルの高いプロスポーツ等の試合を観戦することは、その臨場感やダイナミズムを直接肌で感じることができ、観戦者に夢や感動を与えるとともに、スポーツへの関心や意欲を高める」こと、及び、「プロスポーツや国際的・全国的スポーツ大会の誘致・開催などは、まちの知名度やイメージアップのほか、集客力向上等に伴う経済効果を生み、シビックプライドの醸成やまちのにぎわいづくりにつながる」ことなどについて明記した。

それらを目指すため、本市と「関係機関との連携により、プロスポーツや国際的・全国的スポーツ大会等の誘致・開催に積極的に取り組むとともに、スポーツ観戦に観光を加えたスポーツツーリズムの推進にも配慮し、インバウンド拡大及び国内観光振興を支援」することとしている。

2 東京 2020 基本情報

(1) オリンピック

名 称	第 32 回オリンピック競技大会（2020／東京）
会 期	2020（H32）年 7 月 24 日（金）～8 月 9 日（日）
競技種目数	33 競技 339 種目
参加国・地域数	207（予定）
参加人数	12,000 人以上（予定）

(2) パラリンピック

名 称	東京 2020 パラリンピック競技大会
会 期	2020（H32）年 8 月 25 日（火）～9 月 6 日（日）
競技種目数	22 競技 537 種目

※【2016 リオ・パラリンピック実績】 参加国・地域数：160 参加人数：4,328 人

3 東京 2020 の事前キャンプ実施チームの誘致状況

国名	誘致状況
タイ	<p>○平成 28 年 6 月にタイ王国スポーツ公社 (SAT) と「スポーツ連携及び 交流に関する覚書」締結</p> <p>○本年 7 月にタイ卓球協会とキャンプ実施に関する覚書締結</p>
インドネシア	○これまでの同国と本市との間での環境交流などを足がかりとして、オリンピック委員会や競技団体等にアプローチ中
フィンランド	○フィンランドオリンピック委員会の大会運営ディレクターが本年 6 月に本市を視察

4 大規模大会開催及びキャンプ地誘致に関するタイとの交流

平成 28 年

- 1 月 ・タイを相手国に東京 2020 のホストタウンの登録団体に決定
…全国の地方公共団体と大会参加国等との相互交流を図るとともに、地域の活性化等を推進することを目的としたプログラム (所管：内閣官房) 国の予算又は地方財政措置による支援を予定
- 6 月 ・タイ卓球ジュニアチームが来北、本市で合宿を実施
・SAT 副理事長等が来北、本市とスポーツ連携及び交流に関する覚書を締結
・タイのパラ・パワーリフティングチームが本市で開催された「2016 パラ・パワーリフティングジャパンカップ」に出場
- 10 月 ・タイから小・中・高・大学生が来北し、「タイ王国学生のための日本文化、北九州文化・スポーツ研修」を北九州フィルム・コミッションと共同で実施

平成 29 年

- 2 月 ・「北九州マラソン 2017」にタイ王国マラソン選手 2 名 (男女各 1 名) が出場
- 3 月 ・「ミクニワールドスタジアム北九州グランドオープンセレモニー」に SAT 副理事長を招聘
- 7 月 ・タイのパラ・パワーリフティングチームが本市で開催された「2017 パラ・パワーリフティングジャパンカップ」に出場
・市長、市民文化スポーツ局長等がタイを訪問し SAT 主催のスポーツセミナーに参加
…本市のキャンプ受入れに関するプレゼンテーション等を実施
タイ卓球協会と東京 2020 の事前キャンプ実施に関する覚書を締結
- 10 月 ・タイから小・中・高・大学生が来北し、「タイ王国学生のための日本文化、北九州文化・スポーツ研修」を北九州フィルム・コミッションと共同で実施中

5 東京 2020 に向けた連携体制の構築

(1) 北九州市大規模国際大会等誘致委員会

平成 26 年 7 月に、東京 2020 のキャンプ地誘致や大規模国際大会等の誘致を推進するため、地元経済界やスポーツ団体、行政が一体となり、「北九州市大規模国際大会等誘致委員会」を設立、様々な誘致活動に市を挙げて推進している。

<構成団体>

北九州商工会議所、北九州青年会議所、
北九州市体育協会、北九州ラグビーフットボール協会
北九州観光コンベンション協会、北九州国際交流協会
北九州市

(2) 公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）とパートナー都市協定の締結

本市は、東京 2020 に向けた機運醸成を図りキャンプ地誘致の推進を行うため、平成 28 年 12 月に JOC とパートナー都市協定を締結した。本協定に基づき、JOC は関連スポーツ施設等を利用した国際競技力の向上や、オリンピック・ムーブメント事業を展開し、本市と連携してスポーツの推進事業を行うなど、双方にとってメリットのある事業を実施することとしている。

<協定締結式>

日 程 平成 28 年 12 月 16 日（金）

署名者 JOC 会長 竹田 恆和 / 北九州市長 北橋 健治

(3) 大学等

本市は、東京 2020 等を契機として、スポーツ振興等に関するさまざまな連携・協力を行うことで相互に発展・寄与することを目的に、市内の大学等との包括連携協定の締結を進めている。これまでに九州共立大学（平成 29 年 1 月）と九州医療スポーツ専門学校（平成 29 年 5 月）との間で、協定を締結しており、今後、市内のその他の大学等とも協定締結を予定している。

6 主な大規模国際大会等の誘致状況

キャンプ地誘致に先立ち、本市のにぎわいづくり並びに大規模大会開催の実績・ノウハウの蓄積を目的として、大規模大会の誘致にも力を入れている。

国名	誘致状況
平成 27 年度	○「アジアボディビル＆フィットネス選手権 2015」(6 月)
平成 28 年度	○「2016 パラ・パワーリフティングジャパンカップ」(6 月) ○「世界ダンススポーツ選手権ユース・スタンダード 2016」(7 月) ○「九州実業団毎日駅伝大会」(11 月) ※以降毎年開催 ○「JAPAN RUGBY DREAM MATCH 2017」(2 月)
平成 29 年度	○「HSBC ワールドラグビー女子セブンズシリーズ」(4 月) ○「2017 パラ・パワーリフティングジャパンカップ」(7 月)
平成 30 年度 (予定)	○「HSBC ワールドラグビー女子セブンズシリーズ」(4 月) ○「2018 ITTF ワールドツアー 卓球ジャパンオープン荻村杯(仮称)」(6 月) ○「ワールドパラパワーリフティングアジア・オセアニア選手権大会 2018」(9 月)
平成 31 年度 (予定)	○ラグビーワールドカップ 2019 日本大会・ウェールズ代表チームによる事前キャンプ (9 月頃) …平成 28 年 11 月にウェールズ代表が北九州市で事前キャンプを行う ことについて、本市とウェールズラグビー協会との間で覚書締結